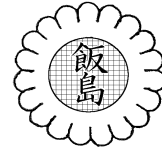


# ひまわり

5月号 令和5年4月28日

横浜市立飯島小学校

生きるよろこび  
学ぶ楽しさ  
のびのび 飯島っ子



## 心を育む大切な言葉

校長 河原 洋之

「何が入っているの？」

「てんとう虫！」

子どもが手にしていた虫かごの中を覗くと、草の中にてんとう虫がいました。春になり、生き物たちが活発に動き始めています。その生き物たちに負けないぐらい飯島っ子も元気に学校生活を送っています。

朝、正門のところに立ち、登校してくる子どもたちにあいさつをしていると、多くの子が元気にあいさつを返してくれます。わたしよりも先に「おはようございます。」と声をかけてくれる子もいれば、わざわざ一度立ち止まってあいさつをしてくれる子もいます。

お互いの顔を見て行うあいさつには、「わたしはあなたの存在を認めていますよ。」というメッセージが込められています。「〇〇さん、おはようございます。」と名前を呼んであいさつすれば、そのメッセージはさらにしっかりと相手に伝わります。学校全体があいさつ上手になれば、そこに集う子どもたちの安心感はより一層高まり、自尊感情も育まれると考えています。

感謝の気持ちを表す「ありがとう」も大切にしたい言葉です。わたしは、周りの人が自分のために何かをしてくれた時、それがどんなに些細なことであっても「ありがとう。」と感謝の気持ちを伝えることができる人でありたいと思っています。また、人のために行動を起こし「ありがとう。」と言われる人でもありたいです。

「ありがとう。」と言われると、自分は人の役に立っているという気持ち、自己有用感をもつことができます。自己有用感は自尊感情にもつながっていきます。

子どもたち、教職員、保護者や地域の皆様と共にあいさつ上手で「ありがとう」の言葉が溢れる飯島小学校を創っていき、子どもたちの心を育んでいきたいと思っています。

ぜひ、ご家庭でも「ありがとう」の言葉を大切にしていただけると嬉しいです。